

鳥取県立公文書館報

第31号
(令和3年度)

鳥取県立公文書館

目 次

公文書館の概要

1 設置の目的	1
2 機能	1
3 組織	1
4 令和3年度予算	1
5 令和3年度事業計画	2
〔 公 文 書 担 当 〕	2
(1) 引継ぎ	
(2) 整理・保存	
(3) 利用提供	
(4) 普及事業	
(5) その他	
〔 市 町 村 協 働 担 当 〕	3
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
〔 県 史 活 用 担 当 〕	3
(1) ふるさと教育・人材育成支援事業	
(2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	
(3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	
(4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	
(5) 事業検討会議の開催	

令和2年度事業概要

〔 公 文 書 担 当 〕	
1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況	4
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号アにより引き継いだもの	
(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの	
(3) 刊行物等の行政資料	
(4) 寄贈、寄託資料（鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウによるもの等）	
2 整理・保存の状況	5
(1) 簿冊等紙資料の修復	
(2) 写真資料等の修復及び電子化	
(3) 複製本の作成	
(4) 簿冊の電子化	
3 利用の状況	6
(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況	
(2) 行政資料等の利用状況	
(3) 一般の方の来館利用状況	
(4) 県職員の利用状況	
(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況	

4 展示の状況	7
(1) 常設展	
(2) 企画展	
5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進	7
(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議	
(2) 開館30周年記念展(再掲)	
(3) 公文書館と図書館、博物館との連携	
(4) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業	
6 普及・啓発	8
(1) 日野町古文書に親しむ会	
(2) 公文書等資料の保存と管理に係る講師の派遣	
(3) 県外からの依頼による講師等の派遣	
(4) 鳥取県立公文書館報第30号の発行	

〔 県 史 活 用 担 当 〕

1 ふるさと教育・人材育成支援事業	9
(1) 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業	
(2) 市町村事業の支援・協力	
2 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業	10
(1) 『新鳥取県史』全巻刊行記念シンポジウム	
(2) 新鳥取県史を学ぶ講座	
(3) 鳥取県史ブックレットの刊行	
(4) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催	
3 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業	
(1) 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集	11
(2) 新鳥取県史収集資料の整理と公開	
4 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業	
(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業	11
(2) 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業	
(3) 弥生時代青銅器の調査研究	

公文書館の概要

1 設置の目的

公文書館は、歴史資料として重要な県等の公文書、その他の記録などを保存し、県民の利用に供するとともに、調査研究を行うため設置し、県、市町村及び県民等が相互に連携し、協力して行う歴史資料として重要な史料の保存及び利用に関する中心的役割を果たすものとする。

2 機能

(1) 公文書の引継ぎ、整理及び保存並びに一般利用

鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、歴史公文書等のうち、特定歴史公文書等として引き継いだものを整理・保存するとともに、一般利用に供する。

(2) 行政資料などの配架

行政資料・統計資料を自由に閲覧できるよう閲覧室に配架する。

(3) 情報の提供

県の施策その他県政に係る歴史的事実に関する調査研究を行い、その成果を企画展などを通じて情報提供する。

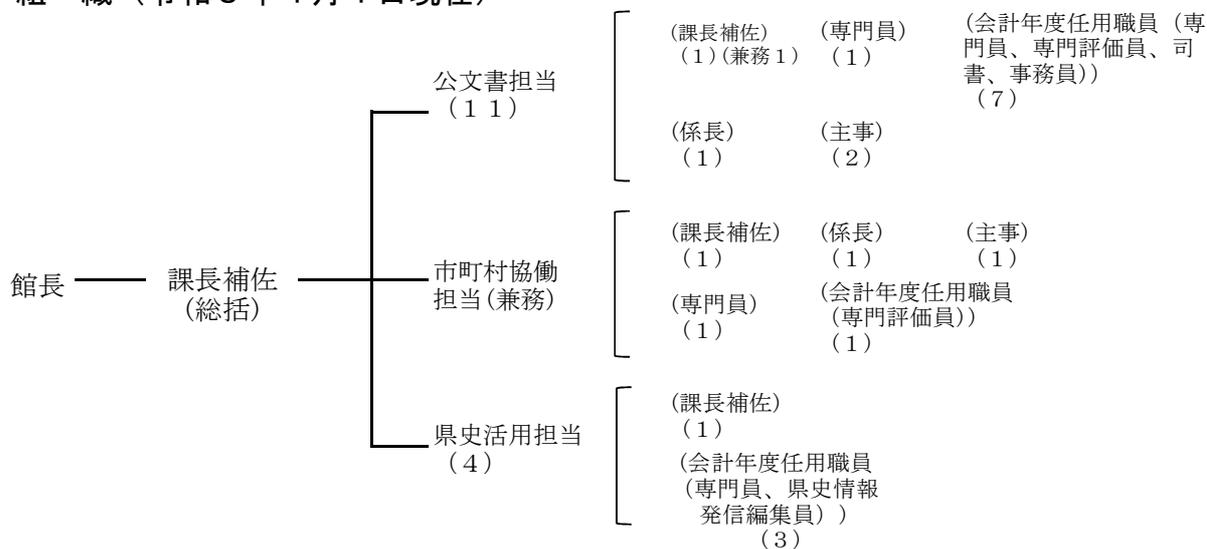
(4) 市町村・県民等との連携・協力

市町村・県民等の保有する歴史資料として重要な資料の保存・利用に関する専門的な情報の提供、技術的な助言等を行う。

(5) 県史編さん情報の活用推進

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した資料の公開や活用を推進するとともに、ブックレットの刊行、講演会の開催等の普及事業を実施する。

3 組織（令和3年4月1日現在）



4 令和3年度予算

(単位：千円)

事業名	当初予算額
公文書館管理運営費	9,905
公文書収集・保存・活用事業	1,965
公文書館センター機能強化・充実事業	2,541
ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業	3,579
合計	17,990

5 令和3年度事業計画

〔公文書担当〕

(1) 引継ぎ

- ア 実施機関が作成した歴史公文書等について、保存年限満了後速やかに当館へ引き継ぐ。
- イ 引き継がれた簿冊について、早期に利用制限情報に関する審査や公文書管理条例制定前引継文書の再評価を行う。
- ウ 所蔵簿冊の点検を行い簿冊目録の整備を図る。
- エ 書庫の狭あい化に備えて、当面の書庫管理の適正化を図る。

(2) 整理・保存

- ア 公文書綴り(簿冊)等紙資料の修復
劣化・破損の著しい簿冊や寄贈を受けた貴重資料を、専門事業者に委託して脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスト)等で修復する。軽易な修復は職員が行う。
- イ 写真・映画フィルムの電子化
写真に関しては、原板(ネガ等)は専用フォルダに収納すると共に、電子化されたデータを印画紙焼付け(L版)にして整理・目録化する。
- ウ 複製本の作成
類縁機関からマイクロフィルム撮影等によって収集した資料を複製本化する。
- エ 書庫の管理
IPM(総合的有害生物管理)を利用して管理すると共に、温湿度の管理を徹底する。
〔※IPMとは、従来のくん蒸剤による書庫及び資料管理に替えて、清掃による虫やカビの回避や、侵入ルートの遮断等予防に重きを置く方法。〕
- オ 所蔵資料を保存し利活用するための基盤整備
条例施行前引継ぎ文書の評価促進。利用制限事前審査。とっとりデジタルコレクションによるデジタル化資料の公開。

(3) 利用提供

収集・整理した保存文書を、鳥取県公文書等の管理に関する条例に基づき、利用提供する。

(4) 普及事業

- ア 常設展
展示コーナー(館内及び共通通路)において、県政に関わる資料を展示する。
共通通路については、話題性のある資料をもとに、年2回程度の入替を行う。
- イ 企画展
「鳥取大火の初公開写真」
(会期：令和2年4月13日(火)～4月28日(水))
「鳥取県ができるまで」
(会期：令和2年9月7日(火)～9月20日(月・祝)予定)
巡回企画展「鳥取県の地域再編—昭和の大合併—(仮称)」
(会期：令和3年11月～令和4年2月)

(5) その他

鳥取県公文書等の管理に関する条例第26条及び鳥取県立公文書館管理運営要綱第27条に基づき、公文書館の事業概要等を掲載した『鳥取県立公文書館報』第31号を作成し、当館ホームページで公開する。

〔市町村協働担当〕

(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

ア 現用公文書及び歴史公文書等の適切な管理・保存活用のための取組

(ア) 職員の資質向上のための研修

a 歴史公文書等の評価選別研修会

b 資料保存・修復研修会

(イ) 部会による個別課題の検討

(ウ) 市町村訪問による歴史公文書等の評価選別・保存活用推進

イ 災害時等の資料の滅失・破損防止のための取組

(ア) 災害時等の連携・協力

(イ) 災害アーカイブズ事業

ウ 普及啓発のための取組

(ア) 巡回企画展「鳥取県の地域再編—昭和の大合併—（仮称）」（再掲）

（会期：令和3年11月～令和4年2月）

〔県史活用担当〕

新鳥取県史編さん事業の成果や収集した歴史資料を有効に活用するため、「ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業」として、関係機関と連携しながら、以下の事業を実施する。

(1) ふるさと教育・人材育成支援事業

ア 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業

イ 学生を対象とした体験型学習の実施やふるさと歴史学習の支援

高校生や大学生を対象とした古文書ワークショップなどを開催

ウ 市町村事業の支援・協力

(2) 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

ア 鳥取県史ブックレットの刊行

「因幡・伯耆の古墳時代（仮）」を刊行予定

イ 新鳥取県史を学ぶ講座

民俗講座「倉吉の民具から暮らしと技術を知る」

歴史講座「西国の戦国時代と因幡・伯耆の人々（仮題）」

ウ 「占領期の鳥取を学ぶ会」の開催

鳥取市歴史博物館と共催で「GHQ軍政レポート」を県民参画で解説

(3) 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

ア 新鳥取県史収集資料の整理と目録・写真等の公開

イ 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

(4) 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業

ア 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業

県政・財界等の関係者や高度経済成長期等に関する県民からの聞き取り

イ 鳥取県災害アーカイブズ事業

歴史資料や文献・新聞から災害情報を抽出し、データベース化して公開

ウ 鳥取県における弥生時代青銅器の調査研究

(5) 事業検討会議の開催

事業内容等について専門的見地から意見を聴取するため有識者等による会議を開催

令和２年度事業概要

〔公文書担当〕

1 特定歴史公文書等の引継ぎ等の状況(令和３年３月３１日現在)

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第２条第４号アにより引き継いだもの
令和２年度は９２６冊の引継ぎを行い、合計５３，４４１冊となった。

(単位：冊)

区 分		保 存 区 分	令和元年度まで	令和２年度	合 計
知事部局	本 庁	30年(旧永年)	29,828	200	30,028
		10年以下(旧有期限)	14,040 (84)	406	14,446 (84)
	地方機関	30年(旧永年)	1,662	1	1,663
		10年以下(旧有期限)	1,059 (23)	37 (6)	1,096 (29)
小 計		30年(旧永年)	31,490 (0)	201 (0)	31,691 (0)
		10年以下(旧有期限)	15,099 (107)	443 (6)	15,542 (113)
知事部局以外	教育委員会	30年(旧永年)	2,126	62	2,188
		10年以下(旧有期限)	1,035 (14)	110 (0)	1,145 (14)
	県立学校	—	506 (2)	75 (1)	581 (3)
	公安委員会	—	11	0	11
	警察本部	30年(旧永年)	132	0	132
		10年以下(旧有期限)	15	0	15
	選挙管理委員会	30年(旧永年)	0	0	0
		10年以下(旧有期限)	2	0	2
	人事委員会	30年(旧永年)	266	0	266
		10年以下(旧有期限)	16	1	17
	監査委員	30年(旧永年)	27	3	30
		10年以下(旧有期限)	511	25	536
	労働委員会	30年(旧永年)	431	0	431
		10年以下(旧有期限)	3	0	3
	収用委員会	—	2	0	2
病院事業管理者	—	51 (1)	6 (0)	57 (1)	
住宅供給公社	—	1	0	1	
土地開発公社	—	9	0	9	
小 計		—	5,144 (17)	282 (1)	5,426 (18)
県議会		30年(旧永年)	782	0	782
合 計			52,515 (124)	926 (7)	53,441 (131)

- ① 「鳥取県公文書等の管理に関する条例」(平成２４年４月１日施行)に伴い、保存区分が見直され永年が３０年となった。また、知事部局をはじめとする１５機関が公文書館へ公文書を引き継ぐ機関として位置づけられた。(表には引継ぎのあった機関のみを掲載)
- ② 知事部局本庁の１０年・５年保存(旧有期限)文書については、平成２３年度までは「鳥取県文書の整理、保管及び保存に関する規程」(平成２４年４月１日廃止)に基づき、歴史資料として重要と判断したものを引き継いでいる。知事部局地方機関については、平成７年度から知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施している。
- ③ その他の機関については、教育委員会本庁(平成８年度から)、人事委員会(平成１０年度から)、労働委員会(平成１０年度から)、県議会(平成１０年度から)、監査委員(平成２２年度から)それぞれ知事部局本庁と同様の方針で引継ぎを実施してきた。
- ④ 警察本部の３０年(旧永年)については、現行警察制度以前(明治～昭和２２年)の文書を平成１６年度に引き継いだものである。
- ⑤ 年度末時点で引継ぎが完了していない簿冊は、当該年度の引継数には計上せず、翌年度に前年度までの収蔵数に加えている。
- ⑥ 令和元年度館報から電子簿冊数をかっこ(内数)で計上した。
- ⑦ 所蔵資料の再選別により廃棄又は移管したものは、前年度までの所蔵数に反映させた。

(2) マイクロフィルムにより複製、保存しているもの

当館所蔵公文書等の不足分を補充するため、他機関等が所蔵する公文書を複製収集しており、また、当館所蔵の劣化した公文書及び県史編さん収集資料についても複製保存している。

(単位:コマ数)

区 分		令和元年度まで	令和2年度	計
欠 落 公 文 書 補 充	県内市町村関係	63,654	0	63,654
	島根県関係	59,381	0	59,381
	福島県移住関係	12,144	0	12,144
	北海道移住関係	18,789	0	18,789
	国立公文書館	477	0	477
	学校調査関係	569,615	0	569,615
	その他	11,592	0	11,592
	計	735,652	0	735,652
劣化公文書		85,355	0	85,355
県史編さん収集資料		108,493	0	108,493
合 計		929,500	0	929,500

(3) 刊行物等の行政資料

(単位:冊)

区 分	令和元年度まで	令和2年度の増減	計
行政資料	35,874	692	36,566
統計資料	27,038	196	27,234
合 計	62,912	888	63,800

※ 内規による廃棄を実施しているため数が減少する場合がある

※ 再選別により行政資料に移管した資料は令和2年度の増減に加えた

(4) 寄贈、寄託資料（鳥取県公文書等の管理に関する条例第2条第4号ウによるもの等）

県史編さん関係原文書	362点
寄 贈 資 料	10,454点

※ 県史編さん関係原文書のうち、17点を平成29年度に県立博物館に移管

2 整理・保存の状況

(1) 簿冊等紙資料の修復

劣化・破損の著しい簿冊や書籍、寄贈を受けた貴重資料等を脱酸、裏打ち、漉き嵌め(リーフキャスト)等で修復した。(事業者委託分)

区 分	令和元年度まで	令和2年度	計
簿 冊	28	0	28冊
図 面 類	610	0	610舗
上記以外の紙資料	46	2	48点

(2) 写真資料等の修復及び電子化

劣化・破損の著しい写真アルバムの修復とともにマイクロフィルム、その他の写真フィルムの電子化を実施した。

区 分	令和元年度まで	令和2年度	計
写真アルバムの修復	25	0	25冊
マイクロフィルムの電子化	178,506	33,671	212,177コマ
写真フィルムの電子化	64,145	1,422	65,567コマ
映画フィルムの電子化	5	1	6巻

(3) 複製本の作成

原本保存と利用者の利便性を図るため、原本やマイクロフィルム等を複製本化する。

区 分	令和元年度まで	令和2年度	計
複製本作成	1,785	0	1,785冊

(4) 簿冊の電子化

センター機能強化・充実事業として、簿冊の電子化を行うとともに簡易検索ツールを作成した。

区 分	令和元年度まで	令和2年度	計
簿冊の電子化	13,504	219	13,723コマ

3 利用の状況

(1) 鳥取県公文書等の管理に関する条例第13条に基づく利用請求の状況

区 分	請求者数 (人)	請求件数 (件)	利用決定区分			不服申立 件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書	358	1,010	989	21	0	0
寄贈寄託資料	44	145	144	1	0	0
合 計	402	1,155	1,133	22	0	0

上記のほかに鳥取県公文書等の管理に関する条例第22条による鳥取県職員の利用請求が216人(473件)あり。

(2) 行政資料等の利用状況

区 分	利用者数(人)	件数(件)
一般県民	62	112
県職員	146	527

(3) 一般の方の来館利用状況

月別	来館者数	内 訳				
		資料・展示 閲覧のみ	相談・案内			写しの交付
			人	件	冊	
4月	122	100	22	3	7	14
5月	199	161	38	6	6	25
6月	287	237	50	8	39	26
7月	268	223	45	21	101	59
8月	242	210	32	8	11	22
9月	393	353	40	7	8	34
10月	429	386	43	11	19	25
11月	2,136	1,822	314	252	426	56
12月	289	214	75	13	89	179
1月	222	190	32	8	19	42
2月	273	246	27	10	126	12
3月	334	296	38	8	22	20
令和2年度計	5,194	4,438	756	355	873	514

(4) 県職員の利用状況

年 度	利用者数 (人)	資料閲覧・貸出 (冊)
令和2年度	362	1,000

(5) インターネットによる公文書館ウェブサイトの閲覧状況

年 度	閲覧回数 (回)
令和2年度	311,761

4 展示の状況

(1) 常設展

鳥取県の誕生からの明治期の資料、昭和20年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した昭和30年代初頭のカラー写真等を展示した。

(2) 企画展

ア 企画展

テーマ：デジタル展示「鳥取大火写真2020」

内 容：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公文書館ホームページ上で初めてのデジタル展示を実施した。

会 期：令和2年4月16日(木)～

イ 企画展

テ ー マ：「鳥取県ができるまで」

内 容：明治4年の鳥取県の誕生から鳥根県への併合、再置、再置後の県政のあゆみの他、その後の地域再編の動きについて紹介し、県民の日の趣旨である「県民がふるさとについての理解と関心を深める」ことへの一助とした。

会 期：令和2年9月1日(火)～9月29日(火)

入 館 者：390人

ウ 開館30周年記念展

テ ー マ：「映像フィルムに刻まれた昭和のとっとり—16mmフィルムから再現された記録—」

内 容：電子化を行った映像フィルムの上映と映像フィルムから切り取った静止画及び関連資料を紹介し、昭和期の鳥取の姿を紹介した。

会 期：令和2年10月30日(金)～11月29日(日)

入 館 者：2,223人

5 県市町村が連携・協力した歴史公文書等の保存活用の推進

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用推進について、県及び全市町村で連携を図りながら普及啓発・災害時の連携協力に係る検討・情報交換等を行う。

(1) 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

ア 第1回共同会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行政イントラネット上に令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画の資料を掲示し、意見聴取、情報共有を行った。

イ 第1回研修会・部会 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

ウ 第2回部会 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

エ 資料保存・修復研修会 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

オ 公文書館職員による市町村訪問

訪問市町村及び訪問日：鳥取市(3月16日)、日南町(3月25日)

内 容：公文書の管理や「歴史公文書等の評価選別基準の標準例(市町村用)」を活用した評価選別の導入について意見交換、書庫等の見学

(2) 開館30周年記念展（再掲）

テーマ：「映像フィルムに刻まれた昭和のとっとり—16mmフィルムから再現された記録—」

内容：電子化を行った映像フィルムの上映と映像フィルムから切り取った静止画及び関連資料を紹介し、昭和期の鳥取の姿を紹介した。

会期：令和2年10月30日（金）～11月29日（日）

入館者：2, 223人

(3) 公文書館と図書館、博物館との連携

・3館及び理蔵文化財センターでデジタルアーカイブ（とっとりデジタルコレクション）を構築し、公開した。

・「災害時等の支援活動体制（担当職員名簿）」を作成し3館及び文化財課での共有を図った。

(4) 歴史公文書等の保存活用に係る市町村との連携事業

ア 災害時文書搬出必要資機材の備蓄（継続）

中性紙箱、真空圧縮袋、無水エタノール、運搬用折りたたみコンテナ等の管理

イ 地域歴史資料所在調査（休止中）

鳥取県内に残る民間の古文書等歴史資料について、市町村等と協力しながら、所在情報の収集を行い、重要文書や未調査の文書について調査員による現地調査を行う。

6 普及・啓発

(1) 日野町古文書に親しむ会

期日：原則毎月第4日曜日（9回開催）

内容：「福田久道家譜」を読む及び現地調査

講師：伊藤 康

受講生：8～10名/回

(2) 公文書等資料の保存と管理に係る講師の派遣

名称：令和2年度文書管理主任研修会

目的：文書審査の要点、簿冊・公印の管理、歴史資料としての公文書の取扱い等について理解を深め、公文書管理条例及びその関連規程に沿った適切な文書事務が行われるようにする。

期日：（新型コロナウイルス感染拡大防止のためデータベース掲示に変更）

場所：（新型コロナウイルス感染拡大防止のためデータベース掲示に変更）

内容：公文書館の業務・役割/所蔵資料紹介/評価選別の実務/不適切な事例/簿冊名の公表・検索のお知らせ/行政刊行物送付のお願い

講師：（新型コロナウイルス感染拡大防止のためデータベース掲示に変更）

(3) 県外からの依頼による講師等の派遣

○全国歴史資料保存利用機関連絡協議会調査・研究委員会主催

公文書館機能普及セミナーin鳥取

概要：公文書管理・歴史公文書保存に関する2つの条例の制定、県市町村歴史公文書等保存活用共同会議の取組及び県内市町村を対象に実施した調査結果などを報告した。

また、パネルディスカッションにおいて、「災害時等の県立文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画」について説明した。

期日：令和2年11月19日（木）

場所：鳥取市民会館（鳥取市）

報告者：田淵 香緒里（公文書館係長）

パネラー：田中 健一（公文書館長）

参加者：53名（都道府県、市町村等の公文書館等職員等）

(4) 鳥取県立公文書館報第30号の発行

公文書等の管理の状況を公表するため、鳥取県立公文書館報第30号を作成し、令和2年5月にホームページで公開した。

〔県史活用担当〕

ふるさと鳥取歴史情報活用推進事業の概要

新鳥取県史編さん事業（平成18～31年度）の成果や収集した歴史資料等を有効に活用し、関係機関と連携しながら、ふるさと教育や市町村事業の支援、収集資料の公開や編さん成果の発信、県の施策や地域づくりに活用できる調査研究等を実施し、郷土の歴史文化を担う人材の育成や県民の「ふるさと鳥取」に対する愛着や誇りの醸成につなげることを目的に、令和2年度から以下の4つを柱とする事業を実施。

1 ふるさと教育・人材育成支援事業

(1) 新鳥取県史を活用した学習教材開発事業

ア 事業概要

新鳥取県史編さん事業で撮影した歴史資料の写真画像や作成図面等を教科書の単元や学習内容と関連づけながら教材化する。その成果はICTを活用した授業実践にも対応できるように、ウェブを利用して発信する。

イ 新鳥取県史を活用した学習教材開発検討会議の開催

期 日：令和2年8月19日（水）、令和3年1月23日（土）、3月27日（土）

場 所：公文書館 会議室

内 容：教材作成の方針検討、教材作成・事例報告、公開方法に係る協議

ウ 検討会議メンバー

氏 名	所属等	担当等
石田敏紀（座長）	県立倉吉西高等学校教諭	古代・現代
前田孝行	県立鳥取西高等学校教諭	近代
花原慧史	鳥取市立湖東中学校教諭	近世
小山富見男	元鳥取敬愛高等学校長	現代
奥田信行	県教育委員会高等学校課指導主事	アドバイザー
岡村吉彦（事務局）	県立公文書館課長補佐	中世

(2) 市町村事業の支援・協力

ア 湯梨浜町内史跡の国史跡指定に向けた学術調査

○羽衣石城及び周辺城郭群学術調査委員会への参加

期 日：令和2年12月13日（日）、令和3年3月24日（水）

場 所：湯梨浜町中央公民館

参加者：岡村吉彦

内 容：羽衣石城やその周辺の城郭群の国史跡指定に向けた調査計画の検討等

○資料調査の実施

新鳥取県史収集資料の中から羽衣石城や周辺地域に関する関係資料を抽出

イ 大雲院（鳥取市）所蔵資料調査への協力

○大雲院資料調査委員会への参加

期 日：令和2年5月30日（土）、6月8日（月）、9日（火）

場 所：大雲院（鳥取市立川町）

参加者：岡村吉彦

内 容：国重要文化財指定に向けた古文書調査・美術品調査に係る検討

○資料調査の実施

大雲院資料（古文書）の分類・目録作成を実施

2 県民の豊かな学びを支える県史活用推進事業

(1) 『新鳥取県史』全巻刊行記念シンポジウム

期 日：令和2年11月7日（土）

会 場：とりぎん文化会館 小ホール

参加者：155名

内 容：

第1部 記念講演会

演 題：「麒麟がくる」の時代と鳥取一明智光秀と羽柴秀吉一

講 師：金子 拓（東京大学史料編纂所准教授）

第2部 パネルディスカッション

テーマ：『新鳥取県史』が拓くふるさとの未来

パネラー：池内 敏（名古屋大学大学院教授、元県史編さん委員長・近世部会長）

小山富見男（鳥取地域史研究会会長、元県史編さん委員会現代部会長）

高田健一（鳥取大学地域学部教授、元県史編さん委員会考古部会長）

コメンテーター：金子 拓

進行役：岡村吉彦（公文書館課長補佐）

(2) 新鳥取県史を学ぶ講座

○民俗講座「倉吉の民具から暮らしと技術を知る」

第1回：「倉吉を歩いた行商一泊のカンカン部隊が残したモノー」

期 日：令和2年10月25日（日）

会 場：倉吉交流プラザ 第1研修室

講 師：山本志乃（鳥取県文化財保護審議会委員・神奈川大学教授）

参加者：35名

第2回：「倉吉餅・弓浜餅の関係資料」

期 日：令和2年12月20日（日）

会 場：倉吉交流プラザ 第1研修室

講 師：関本明子（倉吉博物館学芸員）

山本恭子（米子市立山陰歴史館副館長）

参加者：28名

第3回：「二十世紀梨生産用具」

期 日：令和3年2月21日（日）

会 場：倉吉交流プラザ 第1研修室、二十世紀梨記念館

講 師：樫村賢二（県地域づくり推進部文化財局文化財課文化財主事）

参加者：13名

(3) 鳥取県史ブックレットの刊行

書籍名：鳥取県史ブックレット22「因幡の麒麟獅子舞」

著 者：原島知子（県地域づくり推進部文化政策課係長）

体裁等：A5判、105頁、頒布価格500円

頒布窓口

県立公文書館、県庁県民参画協働課、八頭県土整備事務所建設総務課、中・西部総合事務所地域振興局、日野振興センター日野振興局、県内各書店、県立博物館、鳥取市歴史博物館、鳥取市因幡万葉歴史館

県外の方や窓口での購入が困難な方が書籍を希望する場合は、郵送による販売も可能（クレジットカード又は銀行振込による支払い）

(4) 占領期の鳥取を学ぶ会の開催

英文の鳥取軍政部活動報告を解説し、占領期の鳥取について学ぶ県民参加の連続講座を鳥取市歴史博物館と共同で開催した。

期 日：7月から毎月1回の月例会を実施。3月は令和元・2年の事業報告会を開催。

会 場：月例会は鳥取市歴史博物館、報告会は鳥取県立図書館大研修室

参加者：毎回10～15人

3 新たな地域を拓く歴史情報収集・発信事業

(1) 鳥取県に関する重要な歴史資料の調査収集

資料群	地域	概要	点数
西木下家文書	日南町	近世～近代の鉄山関係資料	約2,000
牛尾家文書	出雲市	戦国時代の牛尾氏に関する資料群	4

(2) 新鳥取県史収集資料の整理と公開

新鳥取県史編さん事業等で調査・撮影した歴史・民俗資料について、公開用の目録作成、写真データの整理等を行い、郷土学習や歴史研究等の活用に供するため、資料データや写真画像・図面等を「とっとりデジタルコレクション」で公開した。

○「とっとりデジタルコレクション」でこれまでに公開した資料数

分類	資料群件数	資料点数	概要等
古文書資料	73	1,041	県内外の個人蔵の中世文書
古記録資料	36	51	県内の棟札・金石文等
民俗資料	1	58	北栄町郷土資料館所蔵民具資料
考古資料	672	87	県内主要遺跡データ・実測図
旧県史刊行物	22	22	『鳥取藩史』等のPDF版
新県史刊行物	25	25	『新鳥取県史』の情報
	829	1,284	

4 鳥取の特色ある歴史文化の調査研究事業

(1) 鳥取県災害アーカイブズ事業

ア 事業概要

過去の歴史資料や文献資料から、これまでに鳥取県内で発生したさまざまな災害事例を抽出し、その発生時期・地域・災害種類等をデータベースにまとめて公開する。

イ 「鳥取県流行性感冒（スペイン風邪）新聞記事データベース」の作成・公開

大正7～9年に大流行した鳥取県のスペイン風邪に関する新聞記事980件を集成した「鳥取県流行性感冒（スペイン風邪）データベース」を作成し、ホームページで公開した（9月）。

ウ 鳥取県災害アーカイブズ検討会議の開催

期 日：令和3年2月3日（水）

会 場：鳥取県庁議会棟第15会議室（県外・遠隔地の方はWebexによるオンライン参加）

検討会議メンバー

氏名	所属・役職等	専門分野等
榎原雅治（座長）	東京大学史料編纂所教授	日本史学（中世）
西山昭仁	東京大学史料編纂所特任研究員	日本史学（近世）
村田泰輔	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター主任研究員	災害考古学、地質学
香川敬生	鳥取大学工学部教授	地震工学
山本伸二	鳥取地方気象台次長	災害・気象情報
小山富見男	鳥取地域史研究会会長	日本史学（近現代）
来見田博基	鳥取県立博物館主任学芸員	日本史学（近世）
佐藤紘一	鳥取県立図書館学芸員	日本史学（近世）

(2) 「鳥取県の昭和の記憶」収集事業

ア 事業概要

戦後の本県の政治・経済・社会その他諸分野で活躍してきた人々の証言を記録化し、貴重な歴史資料として後世に伝える。収集した証言記録は、将来的には現代通史編の編さんにも活用する。

イ 検討会議の開催

期 日：令和2年7月11日（土）

場 所：公文書館会議室

内 容：調査方針の検討、実施計画の策定、テーマと対象者の選定

検討会議メンバー（調査委員）

氏名	所属・役職等	備考
石田敏紀	県立倉吉西高等学校教諭	元現代部会委員
小山富見男	鳥取地域史研究会会長	元現代部会長
西村芳将	県文化財局文化財課課長補佐	元県史編さん室現代担当職員

ウ 個人（境港市在住）の聞き取り

期 日：令和2年9月5日（土）

聞き手：石田敏紀調査委員、西村芳将調査委員

内 容：戦前・戦後の美保基地に関する聞き取り

エ 平林鴻三元知事の聞き取り

期 日：令和2年10月22日（木）、11月25日（水）、12月21日（月）
令和3年3月23日（火）

聞き手：小山富見男調査委員、井上靖朗令和新時代創造本部長、岡村吉彦公文書館課長補佐

内 容：鳥取県の県政に関する聞き取り

(3) 弥生時代青銅器の調査研究

ア 事業概要

鳥取県に関する弥生時代の青銅器（銅鐸・銅剣等）の詳細な図面を鳥取県埋蔵文化財センターの兼務職員を中心に作成。成果は報告書の形で県民へ公開する。

イ 報告書作成検討会議

期 日：令和2年7月8日（木）

場 所：公文書館会議室

出席者：高田健一（鳥取大学地域学部教授、元県史編さん委員会考古部会長）

中原 齊（元県地域づくり推進部文化財局長、元考古部会委員）

県埋蔵文化財センター職員、公文書館職員

内 容：報告書の構成・内容・執筆分担に関する協議

ウ 図面作成

日南町で確認された伝新屋銅鐸のトレース図作成等を実施した。

利用案内

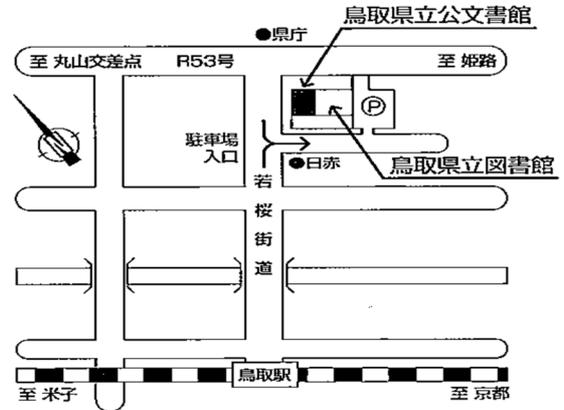
開館時間

●月～金曜日 9:00～17:00

休館日

- 日曜日、土曜日
- 国民の祝日及び振替休日
- 年末年始（12月29日～1月3日）
- 展示コーナーについては、年末年始及び月末に当たる場合を除き、日曜日、土曜日にも入館できます。

案内図



徒歩 鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ
徒歩20分

バス 鳥取バスターミナルより
湖山・鳥大線、賀露線など
「県庁日赤前」下車徒歩1分

鳥取県立公文書館報

第31号—令和3年度—

令和3年6月発行

編集・発行 鳥取県立公文書館

〒680-0017 鳥取市尚徳町101番地

電話 (0857)26-8160

ファクシミリ (0857)22-3977

電子メール kobunsho@pref.tottori.lg.jp

<https://www.pref.tottori.lg.jp/kobunsho>